

# 兵庫県商工新聞

編集委員会  
発行  
兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811  
神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2021年12月  
第352号

# 業者の実態を訴え、 施策の拡充を要請

11月1日の伊丹市を皮切りに今年も自治体訪問が始まりました。2014年から始めた県下41自治体の訪問は今年で8回目。長引くコロナ禍の中、商売の実態を訴え、施策の拡充・改善を要請しました。

## 明石市

11月18日

12月に第4弾のサポート利用券（全世界帯



5千円）15億円を発行。経済効果は45億〜75億を見込んでいる。市として地域に金が循環する仕組みを考える。

感染症での国保の傷病手当については、青色、白色の専従者も対象と考えている。

住宅リフォーム助成は前年度400万予算で350万の実績、今年度は300万円の予算。需要は増えている。

## たつの市

11月22日



小規模工事登録制度はないが、小規模な工事は地元業者へ発注している。たつの市への転入者に対し、住宅支

車整備・販売業を営む役員から、「移動の自粛の中、車が動かなければ商売にならない」と商売の実態が語られた。また、参加者からインボイスについて、シルバー人材センターを

昨年度、売上が減少した業者への支援は1700者におこなった。飲食グルメ券、ポイントシール事業など、市内商店街で活用できるようにした。今回、8億2千万円を使

## 三田市

11月15日

市から、国の支援策の継続は、市町会で要



い、商品券を発行。事業継続支援金は一時支援金・協力金の支給者に上乗せをしている。小規模工事登録制度はないが、小規模な工事は地元業者へ発注している。たつの市への転入者に対し、住宅支



小企業へ10万円、1回平均500件を6回支援。地方創生臨時交付金と合わせ、ふるさと納税の資金も活用し予算づくりをしてきた。

## 加西市

11月17日

西村市長から、「毎年、ご提案は一つずつ取り入れさせていただいている。コロナ対策については、市が状況に向

市から、国の支援策の継続は、市町会で要

## 芦屋市

11月16日

感染症での支援策は



これまで5種類6回目、今回の一時支援金の予算は875件を計上、現在18件。他市の条件との関係で検討する余地もあるかと考えている。

コロナ禍で、国保の資格証明書をなくすようにと市長から指示があったことが話された。市の制度融資の限度額も2千万円に引き上げられたと報告された。

## 相生市

11月22日

11月から2回目の「事業者経営応援支援金」を始めた。現在31件の申し込み。1ヵ月では一時的な売上減少の可能性もあり連続した3ヵ月としている。

感染症の国保の傷病手当について、青色、白色の専従者も対象となるか研究したい。

### ▼産業労働部

さらなる支援を国に要請。飲食店の認証は、9割の事業者が取得。引き続き受け付ける。協力金の支給事務は、事務局とも連携し、個別案件も対応している。

国のコロナ特例融資が終了したが、県では低利の融資制度で対応。伴走型保証は、既

往債務の借換もできる。阪神・淡路大震災の緊急災害復旧資金融資は返済を30年に延長。中小業者への直接支援は、国の経済対策をみて、すすみたい。

### ▼税務課

コロナ感染症特例制度は終了したが、地方税法に基づき、納税者の個別の事情に応じて、猶予制度を柔軟に

対応していく。

適正な課税を確保する目的でインボイスが導入されようとしている。インボイス・消費税について、社会保

野で個人の情報を適切に管理し、公平公正な社会を実現するため、マイナンバーが導入さ

### ▼健康福祉部

資格書、短期証については世帯の状況を鑑みて対応。県として、

国保財政への一般会計繰入はすすめていないが、一部認めている。コロナ感染症の事業主への国保傷病手当

国保財政への一般会計繰入はすすめていないが、一部認めている。コロナ感染症の事業主への国保傷病手当

### ▼県土整備部

可能な限り分離分割発注をしている。指名願い・一般競争入札の要件に地域を入れてい

11月からの2回目の「事業者経営応援支援金」を始めた。現在31件の申し込み。1ヵ月では一時的な売上減少の可能性もあり連続した3ヵ月としている。

感染症の国保の傷病手当について、青色、白色の専従者も対象となるか研究したい。

## 兵庫県への要請

11月18日



国保財政への一般会計繰入はすすめていないが、一部認めている。コロナ感染症の事業主への国保傷病手当

可能な限り分離分割発注をしている。指名願い・一般競争入札の要件に地域を入れてい

11月からの2回目の「事業者経営応援支援金」を始めた。現在31件の申し込み。1ヵ月では一時的な売上減少の可能性もあり連続した3ヵ月としている。

感染症の国保の傷病手当について、青色、白色の専従者も対象となるか研究したい。



▼国民・中小業者の商売とくらは、政治が大きく影響します。消費税増税、インボイス導入、自助を押し付ける社会保障、無策なコロナ対策、言い出せばきりがありません▼10月の総選挙・神戸市長選挙では「いのち、くらしを守る政治に変えよう」と仲間と共に奮闘しましたが、及ばずの結果となりました▼市民連合と4野党が合意した6つの柱と20の政策を多くの国民の支持・共感に広げきれなかったのではと思われています。



# いのちと健康を守る 民商健診

## 家族、従業員みんなで受診を

〔須磨民商・共済会〕

10月10日、神戸医療生協いたやどクリニックで須磨民商共済会恒例の集団健診をおこないました。予約時間に合わせて早朝から31人が来院。今年もコロナ



ウイルス感染症対策のため、受診者を日曜・平日に分散しての開催となりました。役員・事務局も病院スタッフと連携し、受付、測定手伝い、誘導などをお

こない、スムーズに運営できました。身長体重・血圧・心電図・レントゲン・腹囲・採血などの検査を終え、最後に医師の診察がありました。このうち胃カメラをおこなった方は5人で、胃の組織を採って検査に出す人

もいました。また、きびしい経済情勢で中小業者の健康破壊は進んでおり、有所見率も依然として高い状態です。今回の健診では、高血圧や不整脈、甲状腺異常などを指摘される方がいまし

「このきびしい時世、格安で受診できるのは大変ありがたい」と家族総出で受診する人や、建設業の若い業者青年の受診が年々増えてきています。民商では青年部からも追加で健診助成をするなどの取り組みをした結果、会員だけでなくその従業員の福利厚生としても利用されています。

平日健診は11月末までおこなっています。大腸がん・ピロリ菌の一点検診とあわせ、未受診者への受診呼びかけを継続し、中小業者のいのちと健康を守る活動を広げようと、役員・事務局が力を合わせ取り組んでいます。(須磨・杉山通信員)

## 平和と憲法を守ろう

### 戦争させない、9条壊すな！ 11・3兵庫憲法集会

日本国憲法公布75周年の11月3日、総がかり行動実行委員会の主催で、戦争させない、9条壊すな！11・3兵庫憲法集会が神戸メリケンパークで開かれました。会場には1500人が、ライブ中継で約1000人が視聴しました。

メインゲストに招かれた法政大学の西充子教授は、総選挙での野党共闘の成果に触れ、憲法12条の「国民の不断の努力」の大切さを強調。その努力を広げるために取り組んできた国会のパブリックビューイングを紹介。



通りすがりの人が立ち止まって聞き、自分で考えてもらえるような工夫を重ねてきたことや発信する側の発想

ではなく、聞く側の気持ちを想像して行動することが、政治を変える原動力につながる。また、憲法が日々のくらしにとってどうかかわっているのか、憲法をいかすことが生きやすい社会の実現にどうつながっているか、一人ひとりが実感できるように、私たちが地に足をつけ、粘り強く行動していくことが大切と呼びかけられました。

毎年10月～11月に、宝塚医療生協の良元診療所と高松診療所の協力のもと、民商健診(共済加入者は無料)を実施しています。一昨年末では毎日何人かずつ、診察時間内で健診希望者を受け入



として実施してもらっています。以前と変わったことがあるため共済加入者のみの受け入れとしたところ、今年は2人が健診目的で共済に加入しました。毎年何人か

れてもらっていましたが、コロナ感染が広がった昨年からは、できるだけ感染リスクが少ない形で行おうと、外来患者の来ない日曜日に集中させ、両診療所に月一回ずつ「日曜健診」

## 年に一度、身体の手エツクを

〔宝塚民商・共済会〕



## 信頼される仕事を

「お客さんが第一。お

が民商健診で病気が見つかり、治療し助かって

反対に毎年受けていてもその時には発見されず、異変を感じて再検査したところ病気が発見されたという事例もありましたが、年に一度、自分の体の状態をチェックする健診の意義は大いにあります。(宝塚・岡通信員)

日曜健診に行けなかった方や普段の自分の診察予約日に一緒に健診を受ける方など合わせて今年も120人超の方が受診見込みです。会員の皆さんが元気に商売を続けられるよう、これからも民商健診を取り組んでいきます。(宝塚・岡通信員)

## 私の商売ものがたり

NO.226

砂原政好さん (塗装業) 尼崎民商

塗装業を営んで45年。「どんな小さな仕事でも受ける。これがほんまの安請け合

や」と笑う顔は、とても優しく親しみやすい人柄で溢れています。「10代の頃から、自分で商売をしたいと思っていた」と話す砂原さん。埼玉県の製罐工場で働いていた時の同僚が尼崎市の出身で、その紹介もあり尼崎市で塗装業を始めました。

互い信用が大切や、「お金を持っていそうな人からはたくさんもらうけど、持ってなさそうな人には安くする。そんな商売してるから、なかなか金持ちにはなられへん」と話します。ペンキを塗る前と後には、親切丁寧な説明も忘れません。同業者からの信頼も厚く、これまで仕事が途切れたことはないそうです。商売を始めてしほ

く経った頃、知り合いに民商を紹介され入会。その後、税務調査も経験し、役員・事務局とともに税務署とたかいました。今では尼崎民商の常任理事と西園田支部の支部長です。業者運動でもとても頼りになる、尼のペンキ屋さんです。(尼崎・板東通信員)

## 砂原塗装

〒661-0983 尼崎市口田中1-15-25 TEL/FAX 06-6498-5772

## 経営情報

国保証が更新されました。保険料(税)を滞納し、短期証や資格証明書が交付されている世帯に対する徴収が強化されています。払いきれない保険料は放置せず、徴収の猶予や換価の猶予を申請しましょう。延滞料(税)が減額・免除出来ます。国保税(料)の減免・猶予の相談は民商へ。

## 編集後記

来年の干支は寅。12年前の寅年はどんな年だったか覚えていますか。チリ鉾山奇跡の生還や民主党政権など悲喜交々ありましたね。鬼に笑われてもいいので来年は後世に残るいい1年になってほしいものです。(Y)

## お楽しみクロスワード回答

1	オ	2	モ	3	チ	4	ヤ	5	セ	6	ミ
7	ブ	8	コ	9	ン	10	ウ	11	ト	12	ロ
13	ケ	14	ウ	15	イ	16	ナ	17	イ	18	ギ
19	ク	20	ド	21	ン	22	サ	23	ク	24	シ
25	ク	26	テ	27	ン	28	ク	29	ク	30	ク

共同のトヤトウ